

人口動態

(11月1日現在)

世帯数 22,102 (+17)  
人口 101,911 (+125)  
男 48,438 (+83)  
女 53,473 (+42)

出生 174件 死亡 101件  
転入 329 転出 277  
婚姻 61 離婚 5

会津若松

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

159号

昭和38年12月1日発行

発行所 会津若松市  
発行人 桜木幸次  
編集 広報係  
定価 5円

毎月1日・15日発行



明日の群像

秋の火災予防運動が11月26日から12月2日まで、全国一斉に行なわれています。

会津若松市では、火事のない街づくりが進められていますが、そのためには火事をなくするというひとりひとりの意欲を大きな力にまとめあげなければなりません。

昨年、滝沢町に生まれた婦人たちが集まった婦人消防隊の活躍。滝沢町婦人消防隊のある婦人たちが集まって、火事を防ぐためにはそのよい例といえます。消防に関心を持って、火事に関心を持って、火事を防ぐことに関心を持って、毎日の暮しのなかで努力するあたりまえの奥さんであり、おかあさんたちなのです。こうした小さな働きこそ、火事のない街づくりの土台であるといえましょう。

写真=消防署を見学する婦人消防隊のお母さんたち

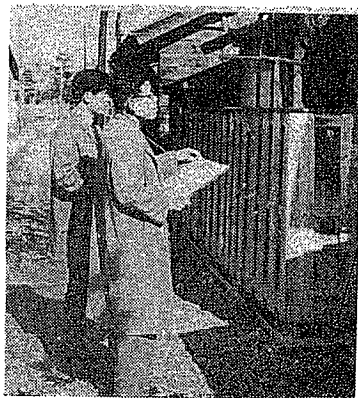
催し案内

■ 回会津若松市婦人大会  
「新しい家庭や住みよい社会づくりのために、私たちの力を役立てましょう」という趣旨のもとに、十二月三日午前九時三十分から午後三時まで市民会館で市教委事務局の主催で開かれ、記念講演として「よい家庭や社会をつくる婦人の力」について、朝日新聞論説委員伊藤昇氏のお話があります。  
■ 無料法律相談  
法律問題でおこまりの方のために、十二月六日午前十時から午後三時まで市役所休養室において無料法律相談を開催いたします。  
主催は人権擁護委員会、弁護士会、法務局、会津若松市です。どんなことでもご相談に応じますので気軽にお出かけ下さい。

11月の主なあしあと

- 四日(月) 臨時市議会
- 追加予算と特別会計の自動車学校追加予算など二議案を審議した。
- 五日(火) 漆器団地の起工式
- 会津若松漆器協同組合連合会の漆器団地起工式は、門田町一の堰建設地内で関係者多数が出席して盛大に行なわれた。
- 六日(水) 会津地区総合開発調査 会津総合開発の基本案をつくる会津地区総合開発調査の第一現地調査は、根津日本経済研究所理事長ら四人のコンサルタントを招いて行なわれた。
- 十一日(月) 会津競輪終る 二十五年の開設以来、さまざまな話題を呼んだ県営会津競輪は十一日を最後に十四年間にわたる歴史を閉じることになった。
- 十二日(火) 市営食肉センター落成式 県下一のト殺能力を備えた会津若松市営食肉センターがこのほどでき上り、指町南四合地内の建設現場で落成式を行なった。
- 十四日(木) 第三回会津若松市農業祭 農業祭は市民会館を中心に開かれた。収穫感謝のつどい、その他農産物品評会、菊、オモト、盆栽、生け花展、生活改良展などが行なわれた。
- 十九日(火) 東北ボードを二次加工する会津若松市指町南四合地内の東北ボード工業工場落成式は同工場に伊藤東北開発総裁らを招いて盛大に行なわれた。

# 住居表示整備事業始る



写真一住居表示現況調査中の係員

会津若松市の旧市街は、減下町特有の町名がまぎらわしいものや同じ番地の家が何軒もあったりして、郵便や電報が間違ったり配達されたり、遅く配達されたりまた訪ねる人の住居を探るのに多くの時間を浪費するなど、日常生活においてはおもたぬ、民間企業の経済活動や行政官庁の事務処理においても、非常に不便な現状です。

これらの不利不便をなくして、誰にでもわかりやすく合理的な住居表示の整備を行ない、近代都市建設を目指して市民生活の向上と福祉増進を図るために、現在、企画課開発係でその準備を進めています。

これは昭和三十七年にできた、住居表示に関する法律に基づき実施されるもので、その実施の内容などについて、

会津若松市については、広く市民の意見を尊重するため市議会、関係行政機関、各公共団体などの代表者や学識経験者などによって構成される住居表示整備審議会により、事業実施の計画、調整などについて諮問し、事業の円滑化を図る計画です。

開発係ではことしの九月から栄町およびその隣町内一帯について、家屋や世帯主、それに番地などの現況調査を行なっています。

昭和四十一年までには整備を終る予定です。

この事業も市民の皆さんの協力と支持によって確立され、新しく住居表示制度が実施になれば、今までのようにまぎらわしい番地もなくなり、不便も解消され、近代都市にあふわしい会津若松市の健全な成長と発展が約束されることでしょう。

## 歳末たすけあい運動に協力を

年の瀬を迎え、街には暮の気分がみなぎり、みんながそれぞれの生活を忙しく過しています。

こうしたなかで、みんなでお正月を迎えられたいように、今年も十二月一日から三十一日まで「歳末たすけあい運動」が行なわれます。市民のみなさんのささやかな善意を期待したいものです。みなさんの贈物は市福祉事務所とお礼に市内の福祉施設などに配分されます。

## 動く図書館あいつね

今年の利用者は、約一万人  
冬期間は団体貸出に切かえ

遠隔地に文化をと、去る三十七年四月以来動く図書館「あいつね」は、今年十一月まで利用者の数は実に千七百四十四冊、女が千二百一人となり、ますます好評です。

昨年にくらべ目立った点が、これに冬期間の団体貸出が入りますので(四、五カ所に)総数七千五百六冊と、動かされる人がなくなつたことでしょうか。ゆきなが一人ちょうど三冊宛読んだら読書する、しかも強制的でない学ぶ態度のあらわれには、力強さが感じられま

あるからだと思えます。三十八年はその半分以上にできないので各駐車場ごとの団体貸出に切換え、冬期間の利用をはかりたいと思

1、現在本代の値上がりは二十一パーセント位で、百円の文庫本が百二十円と、こうしたことから図書館には冊数不足で、利用者の希望図書も制限せざるを得ません。

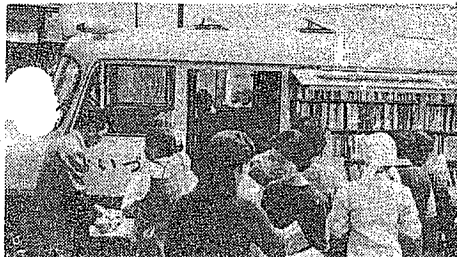
2、新市地区を対象とした自動車文庫ですが、隣接地域住民の貸出要望は本館の本をまわしている現状では当分無理で、個別的扱いの程度でしかできない状態です。

3、要求に適切に処するに絶対数も当然ですが読ま

るために尽くすという人が会長であり会員とあり共同意識がたつ新しい進め方を進めています。

さらに今年四月、小松さんが主唱して少年パトロール隊を結成、子供たちが自覚ある正しい判断を身につけるために、組織されています。

「しかしこうした活躍に中傷や誤解もあるのですが、一と語る小松さんは四十七才のスポーツマンで、同町内会が行なっている清掃運動を、全市ごぞつてのものと伸ばして行きたいと抱負と希望に燃えておられます。



写真二ますます好評のあいつね

1、貸出の問題点  
2、新市地区を対象とした自動車文庫ですが、隣接地域住民の貸出要望は本館の本をまわしている現状では当分無理で、個別的扱いの程度でしかできない状態です。

3、要求に適切に処するに絶対数も当然ですが読ま

お米屋さんの定休日が変わりました  
これまで市内のお米屋さんの定休日は、毎月二日と同様なので、延滞は是非なくしたいものです。そのための休日と歩調をあわせるため十一月から第一日曜、第二日曜日が定休日になりました。

なお平日の配達はなるべく午前中にご注文されれば好都合です。

現在、「あいつね」も一層皆さんのご期待にそうよう努めたいと思えます。か、こうでもしないとつかめません。

4、同じ本でも利用回数を増せば、冊数が増えたのと

このように問題点はありますが、着実に貸出されて

## 広場

小松さん  
小松久雄さん

人々のために尽くすという事は簡単なようで、しかし大変困難なことです。北町一丁目の小松さんは家業のかたわら、町内会や子供会、あるいは警察から委嘱されている青少年指導協力員や交通モニターとして一日中いそがしさにおわれ通し

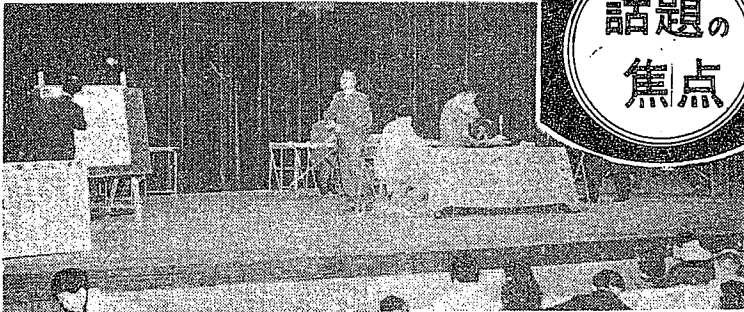
昨年、大町交番地区に青少年指導協力を組織して、一人でもこの街から非行少年が出ないようにと運動しています。この会は誤解もあるのですが、一と語る小松さんは四十七才のスポーツマンで、同町内会が行なっている清掃運動を、全市ごぞつてのものと伸ばして行きたいと抱負と希望に燃えておられます。

## 会津若松から「ねずみ」をなくそう

- ① 実施期間 昭和三十八年十二月十五日から昭和三十九年三月十日
- ② 実施方法
  - 一、強力ねずみとり(クマリン系)一袋(50g入) 30円
  - 二、使用法
    - ねずみの出る場所五、十粒ぐらいを数ヶ所に分けて置きます
    - 食べて減った分を補充しながら、三日と五日間ぐらい続けてください。
  - 三、ねずみとりコンクール
  - ④ 実施要領
    - ねずみ、または尾を期間中に、衛生課、または各支所、出張所に持ってこられた方に賞品を贈呈します。
    - なお、参加賞としてねずみ一匹につき鉛筆一本を進呈します。
  - ⑤ 賞品贈呈期日 昭和三十九年三月下旬の予定。
  - なお、入選者には、おつてご通知します。

### 市営住宅入居者抽せんさる

昭和38年度市営住宅入居者の公開抽せんが、26日午前10時から市民会館で開かれました。申込受付総数865名で、第2種簡易耐火ブロック平家建35戸、特別低家賃住宅(木造2戸建)10戸の計45戸と第1種家屋補欠者15名が、選考委員や申込者代表立会のもとに廻転式抽せん機をまわして抽せんされ、会場には多くの申込者がつめかけました。



### よい子がお花で慰問

勤労感謝の日になんで、ザベリオ幼稚園では、1日早い22日、市役所、消防署、警察署、病院など6カ所を慰問しました。これは日ごろ社会のために働いている人たちに感謝しようと同幼稚園が5ヶ月前から始めたものです。この日、市役所には9人の園児たちが横山市長を訪れ、花束と自分たちがかいた図画を贈り、市長を喜ばせました。

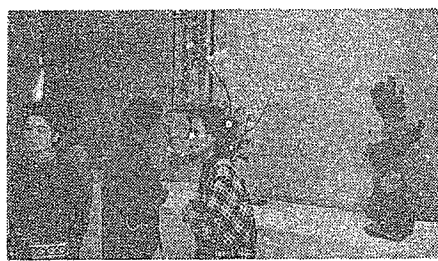
## 第2回市民文化祭をふりかえって

渡辺 宏

第二回の市民文化祭も十一月一日の文化会議を最後にすべて終了いたしました。今年文化祭は第一回にくらべ多くの点で前進が認められます。

第一に市教委に市民文化祭費がはっきり計上されたこと。  
第二に主催団体である文化団体連絡協議会を中軸とした実行委員会を組織し、事務局を設け、更に公民館の一室に事務所を開設して、いつでも仕事ができるようにしたこと。  
第三に参加行事の多くなった理由の一つである入場料を徴収しない行事に対する市民会館使用料の免除という魅力である。

若し人達に新たな感動を与えた「啄木展」  
高校生の聴衆の多かった



写真一第2回市民文化祭から(華道展)

しかし反面こうした内容を各種団体に十分周知させるのに時間がかかり、そのため内容検討にまでいたらないまま、希望行事を全部とり入れたために、期間が長期に亘り、しかも盛り沢山の行事のため市民の敏心が分散して、盛りあがり欠いたのではないかと、いう反省もしています。

管絃楽と合唱の夕  
若々しい演奏に好感のめられた「第一回吹奏楽発表会」  
教授連の作品だけに見ごたえのあった華道展  
中でも各種文化団体の協力によって成功させた、NK主催の「文案」  
市民会館で開催された、池田勇人講演会のため、公民館にも入れない警戒ぶり

宏

の中で、思わぬ予定のくった労音の「伝統音楽講演の夕」更に文化行事がどうしても市街地中心となるので、本年初のころのみである、移動ステージ(民謡・管絃楽・合唱)による農村地(東山、神指、湊)巡回等々いろいろの意味で思い出に残る催しでした。

来年は県の芸術祭が当市で開催される予定になっておりますし、文化会議では、全員に贈呈してあります。まだ受取っていない方は至急衛生課で受領して下さい。

し尿処理場の名称に応募された方に記念品を  
募された方に記念品を  
し尿処理場の完成にともない、広く市民の方から名称募集を行いました。応募された方には記念品を  
募された方に記念品を  
し尿処理場の完成にともない、広く市民の方から名称募集を行いました。応募された方には記念品を  
募された方に記念品を

**図書館の利用時間を知りたいが**

(問) 図書館を利用したのですが、日曜日は午前八時三十分から正午までとなっています。また夜間開館は火・木の二日で午後五時から八時までです。

(答) 会津若松市図書館では、毎週月曜日を休館日としております。また開館時間は冬期間に入つたため当分の間、火曜日から土曜日まで午前八時三十分から午後四時三十分です。

なお、年末年始の休館は十二月二十九日から一月三日までです。ただ十二月二十八日は月末整理のため閉館いたします。

## 成人文芸作品を募集します 切は12月12日

成人としての門出を迎えるにあたり、過去20年間の色々な思い出を反省し、民主国家における自由と責任をもった社会人としての出発に対する覚悟と希望を綴って頂くもので、感想文・俳句・和歌・詩を募集します。

募集締切 12月12日(木) 必着のこと。  
原稿用紙を使用して下さい。

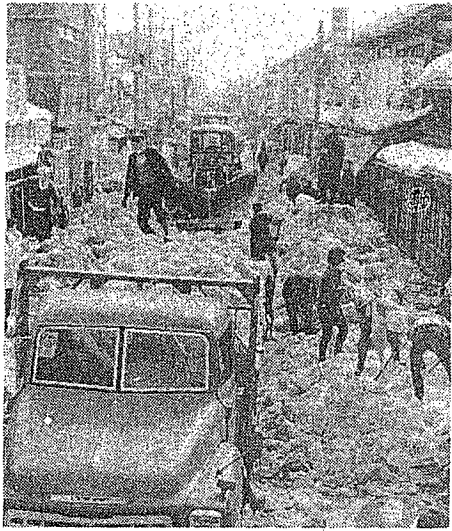
応募資格 市内在住の昭和19年生れの男女。  
発表 12月20日(金)、入選者には別に通知します

賞状・賞品授与 昭和39年1月15日(成人の日)式場で行ないます。  
作品提出先 市教育委員会事務局内社会教育課宛

くわしくは社会教育課(電話2301)、または各公民館分館におたずね下さい。

# 今年の冬は大雪のみこみ

## ＝し尿は雪の前にくみとりを＝



写真＝昨年の市民総ぐるみ除雪作業

会津地方は昨年二十五年前の大雪に見舞われ、被害総額、約五十九億円にも達しました。市では雪害対策本部を設置して、市制はじまって以来という大がかりな除雪対策で豪雪とたたかいましたが、今年の冬も大雪が予想されています。そこで冬將軍に備える各関係団体の姿を特集しました。

### 準備したい除雪方法

#### 市民一人一人の力で

会津地方は昨年二十五年前の大雪に見舞われ、被害総額、約五十九億円にも達しました。市では雪害対策本部を設置して、市制はじまって以来という大がかりな除雪対策で豪雪とたたかいましたが、今年の冬も大雪が予想されています。そこで冬將軍に備える各関係団体の姿を特集しました。

### 測候所から

まず気候から、今年の冬はどうか、若松測候所で雪の予想を聞いてみますと、十一月二十日現在の気候の概況は、まず会津地方の雪積は平年並かやや多く、今冬も二回ないし三回かなりの大雪となるおそれがある、十二月は平年並かやや多く、根雪が早めとなり、年末近くには大雪のところもある見込み。一月

### 国鉄では……

会津地方の輸送力を雪から守るために、国鉄会津線管理事務所では十一月二十日に、また磐西線管理事務所では十一月三十日に、それぞれの沿線の各市町村代表が出席して、除雪懇談会を開き、除雪人の確保など除雪対策について協力を図り、さらに磐西線では、坑内や沿線に吹雪止めを取りつけるほか、機械除雪としてのラッセル車五台もすでに準備も済み、昨年を上まわる大雪ならば、必要に応じてロータリー車の出動も可能という体制で、間近かな冬將軍をなやませています。



写真＝準備終った大雪にそなえるラッセル車

また、昨年雪害対策本部を設けて、市民総ぐるみの

### 松若土木事務所では

#### 次に、県土木事務所では

次に、県土木事務所ではすでに十月二十九日、第一回の除雪対策について打合せ会を、十一月五日には第二回目の会議を開いて各市町村の要望を聞くなど、除雪対策を立てています。

機動力としては、ブルドーザー三台、タンプカー二台、グレーター二台、トラック二台で、準備を進めています。

### 市役所では……

また、昨年雪害対策本部を設けて、市民総ぐるみの

### 今から心の準備を

会津から雪害をなくすにはあまりにも強烈な自然の力におされがちですが、昨年のような未曾有の被害も天災とだけいい切れるものではないようです。会津地方の道路・交通網の貧弱なこと、産業開拓面での立ち遅れていることなどが雪の被害を大きくしたと考えられます。二十年來の豪雪といわれても、毎年続くわけではないようですが、雪害に対する心がまえと用意だけは周到にして、今から厳しい冬將軍にたいも

市役所とが一体となつての強力な雪の処理にあたる計画です。土木課ではブルドーザー、タンプカー各一台、トラック二台の機動力をフルに生かして交通確保につとめまた大雪のために市民生活で一番こまいったし尿処理について、衛生課では、雪の降らないうちに市内全戸に早めにし尿をくみ取るよう呼びかけ、業者にも路地や道路の狭い町内を重点的にくみ取るよう、さらに大雪で車が動かなくなつたのためにソリなどを準備するよう、呼びかける計画です。



### 野ねずみ退治は

これから  
田畑を荒らす野ねずみの駆除を行なうのによい季節となりました。野ねずみは年々繁殖を増して、秋・冬の農作物や貯蔵物をくいつたため、多くの被害にほつています。

この被害を最少限にするために、市では広範囲にわたって十一月二十七日に一斉駆除を実施しましたが、

使用農薬はフラトールという特定毒物ですから、取扱いが制限されていますので、危害防止のために、次の点に注意して下さい。

- 1、この農薬は一人で勝手に使用したり、室内には用いないこと。
- 2、毒えさは地面の上には仕掛けないこと。
- 3、家畜はフラトールに弱いので、野ねずみ駆除実施当日から一週間位は、犬・猫・にわとりなどの放し飼いはしないで下さい。

果樹類の手入れ  
十二月にもなると、果樹類の大部分の収穫が終り、

今年の勝負は終わったという感が強いのですが、これからの農作業の一つとして果樹類の手入れも大切ですが、まず、落葉のしまつていては、落葉で冬を越す病害虫の防除をかため、ていねいに集めて有機物として深く埋めることです。同時に果樹園の周辺の雑草の焼却を行なうこと。特に柿やその他の果樹では、葉は風で飛ばされるままになつて

いる例が多いのですが、施肥などしない果樹にとつては、特に貴重な有機物ですから必ず集めて埋めて下さい。

また会津地方は雪が多いので、雪折れとか野ねずみ野うさぎの被害が多いため雪の降る前にその対策を考えて下さい。特に若木ではできるだけ枝をまとめて、わら・かやその他の材料で巻いておくことが必要です。  
完全な防止は困難であるが、できるだけこのような方法で果樹類を大雪から守って下さい。